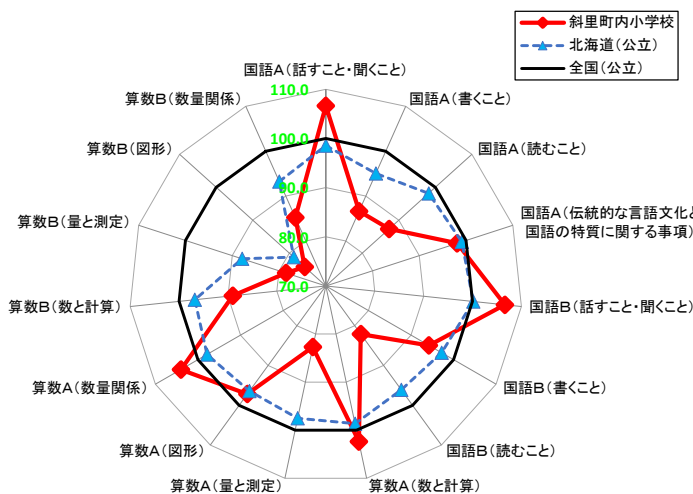


■斜里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:80人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



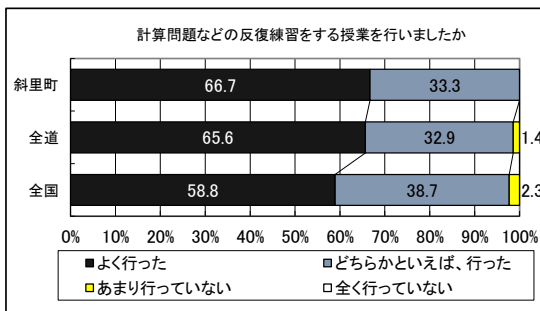
【全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合】

	国語A	国語B	算数A	算数B
斜里町	25.3	25.1	26.5	41.4
全国との差	3.0	1.9	-0.8	10.9

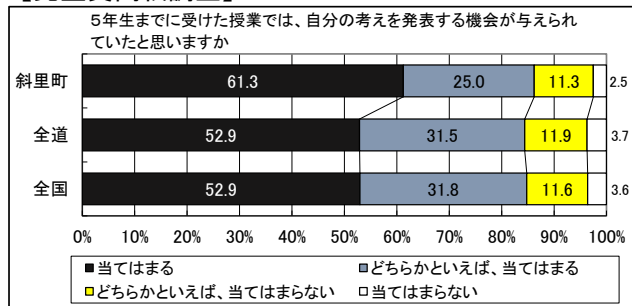
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B
斜里町	72	55	78	40
全国との差	-2.8	-2.5	-0.6	-5.9
全道との差	-2.0	-1.0	1.0	-4.0

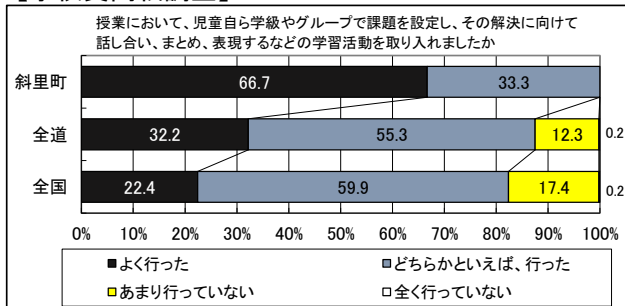
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数Aを除き、全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合が高いことから、学校全体で正答数の少ない児童に対する調査結果を活用した授業改善や放課後等を活用した学習サポート、家庭学習の充実に取り組む必要がある。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が児童自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れ、児童の考えを発表する機会を位置付けたことにより、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

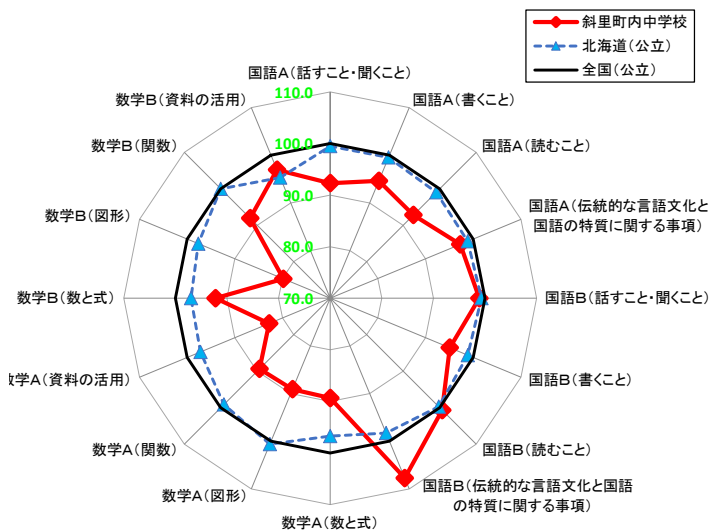
【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年10回程度の土曜授業の実施

■斜里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:74人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



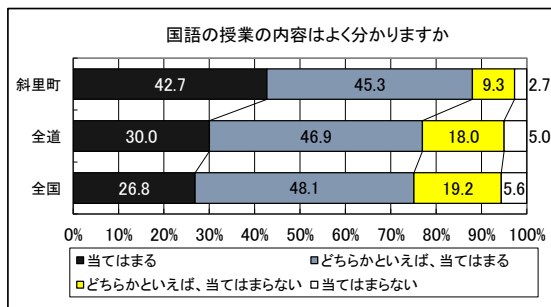
【全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合】

	国語A	国語B	数学A	数学B
斜里町	31.4	23.1	35.9	27.9
全国との差	8.2	-4.7	10.7	5.4

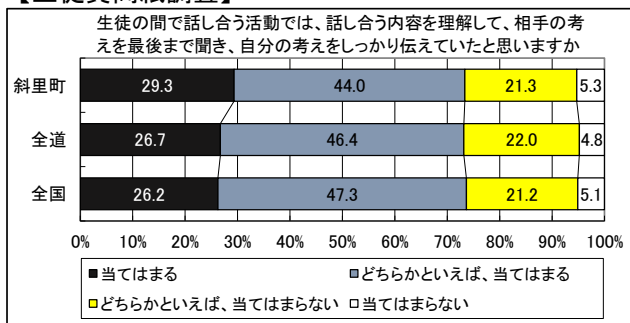
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	数学A	数学B
斜里町	74	71	57	42
全国との差	-3.4	-1.2	-7.6	-6.1
全道との差	-3.0	-1.0	-7.0	-5.0

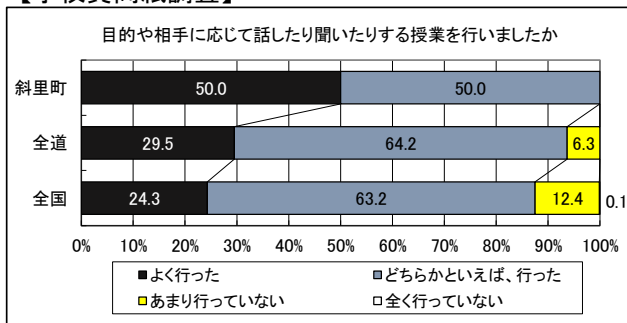
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bを除き、全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合が高いことから、学校全体で正答数の少ない生徒に対する調査結果を活用した授業改善や放課後等を活用した学習サポート、家庭学習の充実に取り組む必要がある。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が、目的に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、生徒は相手の話を最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えることができ、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年10回程度の土曜授業の実施